

# 平成25年度富山県歳入歳出決算要旨

平成26年8月7日

出 納 局

# 平成25年度富山県歳入歳出決算の概要について

H26. 8. 7

出 納 局

## 1 決算規模

(単位：百万円・%)

区 分		平成25年度 決算額 A	平成24年度 決算額 B	増 減 額 (A-B) C	増減率 C/B
一般会計	歳 入	563,238	571,522	△ 8,284	△ 1.4
	歳 出	540,807	554,430	△ 13,622	△ 2.5
特別会計	歳 入	188,581	167,974	20,606	12.3
	歳 出	177,393	156,745	20,648	13.2
計	歳 入	751,819	739,496	12,323	1.7
	歳 出	718,200	711,175	7,025	1.0

(注) 表中の数値は、それぞれ原数値を四捨五入しているため、計数が一致しない場合がある。以下、各表同じ。

平成25年度の一般会計及び特別会計を合算した決算額は、

歳入 7,518億19百万円 (前年度7,394億96百万円)

歳出 7,182億00百万円 (前年度7,111億75百万円)

となっており、前年度と比べると、歳入では123億23百万円、歳出では70億25百万円、それぞれ1.7%、1.0%の増加となった。

## 決 算 規 模 の 推 移

(単位：百万円・%)

区 分		決 算 額					対 前 年 度 増 減 率				
		平21	平22	平23	平24	平25	平21	平22	平23	平24	平25
歳 入	一般会計	599,153	589,258	586,188	571,522	563,238	9.9	△ 1.7	△ 0.5	△ 2.5	△ 1.4
	特別会計	181,617	146,459	143,401	167,974	188,581	6.0	△ 19.4	△ 2.1	17.1	12.3
	合 計	780,770	735,717	729,589	739,496	751,819	9.0	△ 5.8	△ 0.8	1.4	1.7
歳 出	一般会計	590,048	570,363	566,550	554,430	540,807	10.4	△ 3.3	△ 0.7	△ 2.1	△ 2.5
	特別会計	171,586	136,093	132,292	156,745	177,393	6.5	△ 20.7	△ 2.8	18.5	13.2
	合 計	761,634	706,456	698,841	711,175	718,200	9.5	△ 7.2	△ 1.1	1.8	1.0

## 2 一般会計歳入歳出決算

### (1) 決算収支

(単位：百万円・%)

区 分		平成25年度 A	平成24年度 B	増減額 A - B	比 率 A / B
1. 歳入総額		563,238	571,522	△ 8,284	98.6
2. 歳出総額		540,807	554,430	△ 13,622	97.5
3. 歳入歳出差引額(形式収支) a		22,431	17,092	5,339	131.2
4. 翌年度へ 繰り越す べき財源	継続費	116	71	45	162.7
	繰越明許費	21,491	16,117	5,373	133.3
	事故繰越	209	315	△ 107	66.2
	計 b	21,816	16,504	5,312	132.2
5. 実質収支額(a - b)		615	588	27	104.6

一般会計の決算額については、前年度と比べると、

歳入は5,632億38百万円で、82億84百万円、1.4%の減少となり、

歳出は5,408億7百万円で、136億22百万円、2.5%の減少となった。

形式収支は224億31百万円で、形式収支から繰越事業にあてる財源として翌年度へ繰り越すべき額218億16百万円を控除した実質収支は、6億15百万円の黒字となった。

#### ※ 平成25年度一般会計決算のポイント

○歳入では、景気の持ち直しを背景に、県税や地方譲与税が増加するとともに、地域の元気臨時交付金や大型補正に係る多額の繰越により国庫支出金が増加したが、北陸新幹線整備に係るものなど県債の発行が減少したことなどにより、4年連続の減少となった。

○歳出では、厳しい財政環境の中、引き続き人件費の削減など行財政改革に取り組みつつ、

「元気とやま」の創造に向けて、

観光振興と誘客・交流の促進、産業と地域の活性化、二次交通の整備・充実、

新幹線接続新駅設置支援、並行在来線の経営安定対策、伏木富山港の機能向上

など、北陸新幹線の開業効果を最大限に高めるための施策に最優先で取り組むとともに、

「新・元気とやま創造計画」を着実に推進するため、5つの重点戦略や重要政策「人づくり」に位置づける事業に積極的に取り組んだが、北陸新幹線整備負担金が増加したことで新幹線貸付料の充当により大幅に軽減されたこと、中小企業向けの貸付けが減少したこと、などにより歳出全体では4年連続の減少となった。

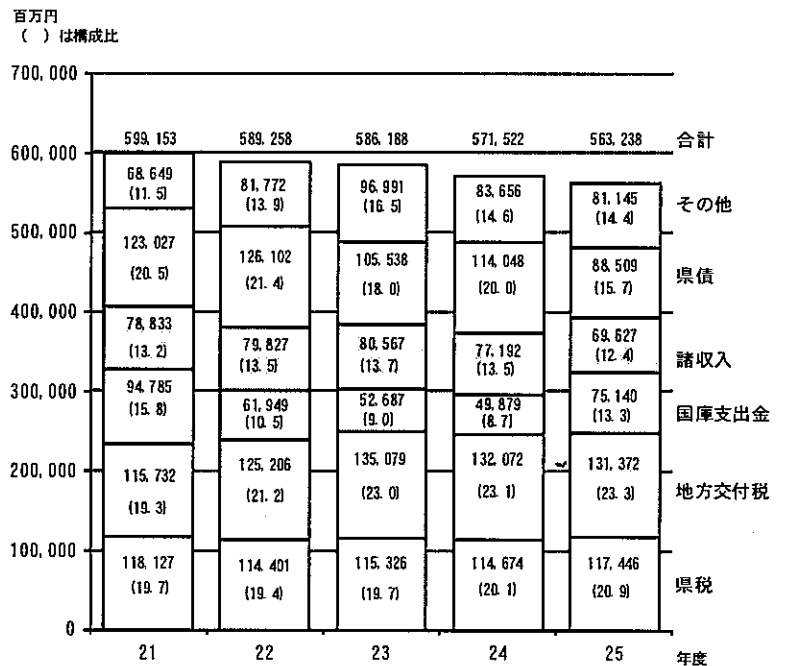
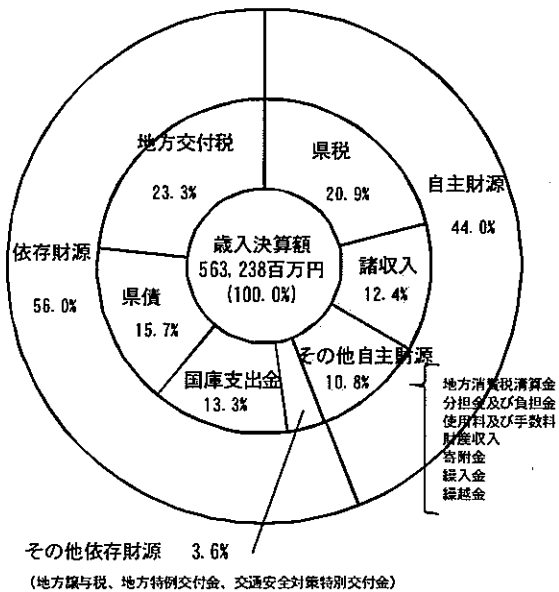
○実質収支は、6億15百万円となり、前年度より27百万円増加し、2年ぶりに6億円台となった。

(2) 歳入の状況

(単位：百万円・%)

区分	平成25年度決算額 A		平成24年度決算額 B		増減額 C (A-B)	増減率 C/B (%)	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)			
自主財源	県税	117,446	20.9	114,674	20.1	2,773	2.4
	諸収入	69,627	12.4	77,192	13.5	△7,565	△9.8
	地方消費税清算金	20,493	3.6	20,662	3.6	△169	△0.8
	使用料及び手数料	8,359	1.5	8,528	1.5	△169	△2.0
	その他	32,067	5.7	37,090	6.5	△5,023	△13.5
	小計	247,992	44.0	258,146	45.2	△10,154	△3.9
依存財源	地方交付税	131,372	23.3	132,072	23.1	△701	△0.5
	国庫支出金	75,140	13.3	49,879	8.7	25,261	50.6
	県債	88,509	15.7	114,048	20.0	△25,540	△22.4
	(通常債)	(43,832)	(7.8)	(65,587)	(11.5)	(△21,756)	(△33.2)
	(行革債、退手債等)	(3,141)	(0.6)	(8,700)	(1.5)	(△5,559)	(△63.9)
	(臨時財政対策債)	(41,536)	(7.4)	(39,761)	(7.0)	(1,775)	(4.5)
	地方譲与税等	20,226	3.6	17,376	3.0	2,850	16.4
小計	315,247	56.0	313,375	54.8	1,870	0.6	
合計	563,238	100.0	571,522	100.0	△8,284	△1.4	

一般会計歳入決算額の構成



## <主な款別決算の特徴>

### ア 県 税

県税の決算額は、1,174億46百万円で、前年度(1,146億74百万円)と比べると、27億73百万円、2.4%の増加となった。これは、個人県民税や法人事業税が増加したことなどによるものである。

### イ 地方譲与税

地方譲与税の決算額は、194億80百万円で、前年度(165億93百万円)と比べると、28億87百万円、17.4%の増加となった。これは、地方法人特別譲与税の増加などによるものである。

### ウ 地方交付税

地方交付税の決算額は、1,313億72百万円で、前年度(1,320億72百万円)と比べると、7億1百万円、0.5%の減少となった。

### エ 国庫支出金

国庫支出金の決算額は、751億40百万円で、前年度(498億79百万円)と比べると、252億61百万円、50.6%の増加となった。これは、地域の元気臨時交付金や前年度からの繰越事業に係る国庫支出金が大きく増加したことなどによるものである。

### オ 県 債

県債の決算額は、885億9百万円で、前年度(1,140億48百万円)と比べると、255億40百万円、22.4%の減少となった。これは、北陸新幹線整備に係る県債や減収補填債が減少したことなどによるものである。

### カ そ の 他 (自主財源)

うち、諸収入は、696億27百万円で、前年度(771億92百万円)と比べると、75億65百万円、9.8%の減少となった。

また、繰入金は、99億6百万円で、前年度(119億63百万円)と比べると、基金からの繰入が減少したことなどにより、20億56百万円、17.2%の減少となった。

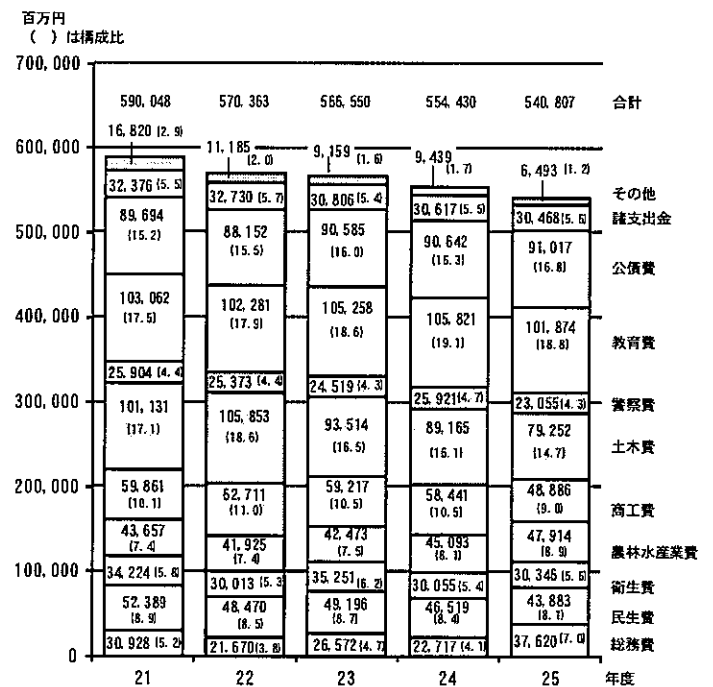
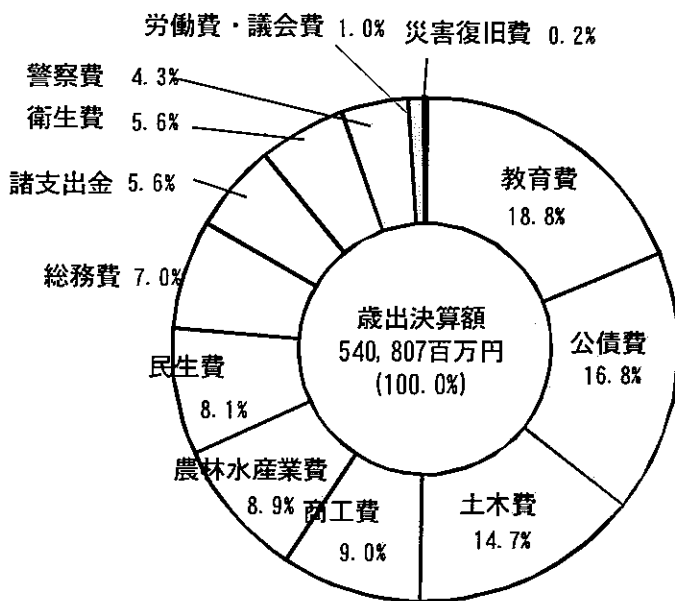
その結果、自主財源の割合は前年度(45.2%)と比べると1.2ポイント低い44.0%となった。

### (3) 歳出の状況

(単位：百万円・%)

区 分	平成25年度決算額 A		平成24年度決算額 B		増減額 C (A-B)	増減率 C/B (%)
	構成比 (%)		構成比 (%)			
議 会 費	1,035	0.2	1,071	0.2	△ 36	△ 3.4
総 務 費	37,620	7.0	22,717	4.1	14,903	65.6
民 生 費	43,883	8.1	46,519	8.4	△ 2,636	△ 5.7
衛 生 費	30,346	5.6	30,055	5.4	292	1.0
労 働 費	4,635	0.9	7,390	1.3	△ 2,756	△ 37.3
農 林 水 産 業 費	47,914	8.9	45,093	8.1	2,820	6.3
商 工 費	48,886	9.0	58,441	10.5	△ 9,556	△ 16.4
土 木 費	79,252	14.7	89,165	16.1	△ 9,913	△ 11.1
警 察 費	23,055	4.3	25,921	4.7	△ 2,866	△ 11.1
教 育 費	101,874	18.8	105,821	19.1	△ 3,947	△ 3.7
災 害 復 旧 費	823	0.2	977	0.2	△ 155	△ 15.8
公 債 費	91,017	16.8	90,642	16.3	375	0.4
諸 支 出 金	30,468	5.6	30,617	5.5	△ 149	△ 0.5
合 計	540,807	100.0	554,430	100.0	△ 13,622	△ 2.5

### 一般会計歳出決算額の構成



### <主な款別決算の特徴>

#### ア 総 務 費

総務費の決算額は、376億20百万円で、前年度(227億17百万円)と比べると、149億3百万円、65.6%の増加となった。これは、地域の元気臨時交付金の地域振興基金への積立てや、あいの風とやま鉄道株式会社への増資などによるものである。

## イ 民 生 費

民生費の決算額は、438億83百万円で、前年度（465億19百万円）と比べると、26億36百万円、5.7%の減少となった。これは、安心こども基金推進事業の補助金などが増加した一方で、介護基盤緊急整備臨時特例基金等への積立が減少したことなどによるものである。

## ウ 衛 生 費

衛生費の決算額は、303億46百万円で、前年度（300億55百万円）と比べると、2億92百万円、1.0%の増加となった。これは、地域医療再生臨時特例基金等への追加積立の実施などによるものである。

## エ 労 働 費

労働費の決算額は、46億35百万円で、前年度（73億90百万円）と比べると、27億56百万円、37.3%の減少となった。これは、緊急雇用創出臨時特例基金への積立が減少したことなどによるものである。

## オ 農 林 水 産 業 費

農林水産業費の決算額は、479億14百万円で、前年度（450億93百万円）と比べると、28億20百万円、6.3%の増加となった。これは、土地改良事業費や林業費の増加などによるものである。

## カ 商 工 費

商工費の決算額は、488億86百万円で、前年度（584億41百万円）と比べると、95億56百万円、16.4%の減少となった。これは、観光費が増加した一方で、中小企業向けの貸付けが減少したことなどによるものである。

## キ 土 木 費

土木費の決算額は、792億52百万円で、前年度（891億65百万円）と比べると、99億13百万円、11.1%の減少となった。これは、道路改良費や街路事業費などが増加した一方で、北陸新幹線建設費の負担金や直轄事業負担金が減少したことなどによるものである。

## ク 警 察 費

警察費の決算額は、230億55百万円で、前年度（259億21百万円）と比べると、28億66百万円、11.1%の減少となった。これは、射水警察署の移転改築が完了したことなどによるものである。

## ケ 教 育 費

教育費の決算額は、1,018億74百万円で、前年度（1,058億21百万円）と比べると、39億47百万円、3.7%の減少となった。これは、高等学校の整備費が増加した一方で、特別支援学校の建設費や給与費が減少したことなどによるものである。

## コ 公 債 費

公債費の決算額は、910億17百万円で、前年度（906億42百万円）と比べると、3億75百万円、0.4%の増加となった。

### 3 特別会計歳入歳出決算

(単位：百万円・%)

区 分	平成25年度決算額 A	平成24年度決算額 B	増減額 (A - B) C	増減率 C / B
歳 入	188,581	167,974	20,606	12.3
歳 出	177,393	156,745	20,648	13.2
歳入歳出差引額	11,188	11,229	△ 41	△ 0.4

特別会計の決算額については、前年度と比べると、

歳入は1,885億81百万円で、206億6百万円、12.3%の増加となり、

歳出は1,773億93百万円で、206億48百万円、13.2%の増加となった。

歳入歳出差引額は、111億88百万円で、この歳入歳出差引額は、各会計ごとに、それぞれ平成26年度へ繰り越しとなった。

#### <主な特別会計の決算の特徴>

##### ア 公債管理特別会計

前年度と比べると、借換債、償還元金が増加したことなどにより、歳入・歳出ともに、223億44百万円、15.9%の増加となった。

##### イ 中小企業活性化資金特別会計

前年度と比べると、歳入は貸付金の償還が減少したことなどにより、6億56百万円、19.8%の減少、歳出は償還金支出の減少などにより7億21百万円、63.2%の減少となった。

##### ウ 公共用地先行取得事業特別会計

前年度と比べると、歳入は繰越金の減少などにより、12百万円、1.9%の減少、歳出は県単独公共用地先行取得事業費の増加などにより67百万円、23.4%の増加となった。

##### エ 流域下水道事業特別会計

前年度と比べると、歳入は負担金の減少などにより、11億35百万円、13.2%の減少、歳出は建設費の減少などにより5億68百万円、8.0%の減少となった。



## 特別会計決算収支額

(単位：百万円・%)

会 計 名	25年度 予算現額	歳 入				歳 出				歳入歳出 差引額 A-C
		25年度 決算額	24年度 決算額	増減額	比 率	25年度 決算額	24年度 決算額	増減額	比 率	
		A	B	A-B	A/B	C	D	C-D	C/D	
1 物品調達等管理特別会計	601	853	840	13	101.5	523	545	△ 23	95.8	330
2 公債管理特別会計	163,256	162,574	140,231	22,344	115.9	162,574	140,231	22,344	115.9	0
3 収入証紙特別会計	4,436	4,297	4,549	△ 252	94.5	4,246	4,495	△ 249	94.5	51
4 母子寡婦福祉資金特別会計	101	109	139	△ 30	78.2	63	83	△ 20	75.7	46
5 中小企業活性化資金特別会計	807	2,651	3,307	△ 656	80.2	420	1,141	△ 721	36.8	2,231
6 就農支援資金特別会計	149	174	466	△ 292	37.3	96	366	△ 270	26.2	78
7 沿岸漁業改善資金特別会計	71	251	256	△ 5	98.0	59	36	23	163.1	192
8 林業振興・有峰森林特別会計	353	494	475	19	104.0	304	303	1	100.3	190
9 奨学資金特別会計	256	416	410	6	101.5	186	204	△ 18	91.2	231
10 公共用地先行取得事業 特別会計	926	624	635	△ 12	98.1	355	288	67	123.4	268
11 「元富山県営水力電気並鉄道 事業」資金特別会計	0	5,618	5,116	503	109.8	0	0	△ 0	0.0	5,618
12 港湾施設特別会計	1,819	1,884	1,936	△ 52	97.3	1,790	1,872	△ 83	95.6	94
13 工業用地等管理特別会計	345	1,174	1,018	156	115.3	250	86	164	291.5	924
14 流域下水道事業特別会計	8,377	7,462	8,597	△ 1,135	86.8	6,527	7,095	△ 568	92.0	935
合 計	181,495	188,581	167,974	20,606	112.3	177,393	156,745	20,648	113.2	11,188